

どんびま

2012年6月6日発行
発行者 椀の湖農業小学校

クリンソウ

クリンソウは北海道・本州・四国に分布する多年草で、サクラソウの仲間だ。湿地を好み、へらの形の葉を地際から放射状に出し、春になると株の中心から花茎をのばし、花茎の同じ高さに紅紫色の花を数輪咲かせる。花は下から段になって次々に咲いて行く。その姿が五重の塔などの屋根の上に建つ「九輪」に似ていることから、この名が付いたと云う。

我が家では母屋の裏庭の湿った場所に数十株ほどあって、子どもの頃はこの花の盛りは田植えの真っ最中であつた。手間換え(結)の女衆の賑やかな話声と、苗を植える鮮やかな手さばきが思い出される。あの頃は農山村の小中学校では数日間の農繁休暇があつた。まだ手作業が多かつた当時の農家では、子どもも大事な労働力であつた。

(草)



6月授業日のご案内

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|----------------------------|
| ●日程 | 6月17日(日) | ●昼食 | ほうば寿司・吸い物・ほうば餅 |
| 受付 | 9:00~9:30 | ●服装 | 作業のできる服装 |
| 始めの会 | 9:30~9:40 | ●持ち物 | 手袋、タオル、長靴、雨具、食器、箸、野菜持ち帰り用袋 |
| 授業 | 9:40~12:00 | | |
| | お茶摘み・お茶もみ | | |
| | ほうば寿司作り | | |
| 昼食 | 12:00~13:00 | ●締め切り | 6月12日(厳守) |
| 授業 | 13:00~15:00 | ●問い合わせ・緊急連絡 | TEL 0573-75-4417 |
| | 畑の仕事 | | 090-5110-9362(山内總太郎) |
| 終わりの会 | 15:00~15:15 | | |

～5月の農小レポート～

泥んこ田植えは楽しい+ でも米作りは大変々

新緑の季節、風薫る五月と云うに相応しく、気持ちの良い天気恵まれた中で、公認の泥んこ遊び?ではなく、農業体験の中では最も大切な、お米を作るための田植え作業が行われました。

1 午前の授業。 南瓜苗の植え付け、じゃがいもの芽かき。南瓜は先月持ち帰りの種子から育てた苗に、各自の名札を付けて植え付けました。ジャガイモは余り沢山の株が立ち上がると、葉っぱに養分が取られてしまうので芽かきをしました。

2 昼食。 杵搗き草餅、おはぎ（あんこ、きなこ）、おにぎり（餅不得手の人用に）、野菜サラダ、味噌汁（筍、ワラビ）天ぷら（こんてつ、もやし）白菜のおひたし、浅漬け、沢庵の粕漬け。

毎年田植えを行う6月は行事食として早苗饗（さなぶり）でした。昔の農家では田植えが終わると、田の神様にヨモギやススキで三宝を作りお供え（おはぎ、ほうば寿司など）をして、田植えの無事に感謝と今年の豊作を祈りました。

そんな風習にならない農小では「サナブリ」をするのが恒例となっており、普段より盛り沢山の料理が用意されております。

3 野菜の甘味（糖度）調べ。 昼休みを利用して野菜にどれほどの、甘味があるかを糖度計を使って調べてみました。今回は主にスーパーで調達した物で度数を見ましたが、今後は農小の収穫野菜と比べて見たいと思います。

4 午後の授業。 田植え、約50アールの田んぼに入り、二本の綱を張り印の有るところにコシヒカリの苗を植え付けました。毎年の事ながら尻もちをついて泥んこになり、上下共に着替える姿が今年もありました。初体験の生徒もいましたが全員無事に、楽しく引き上げて来ましたので安心しました。

5 ジャンボ南瓜の植え付け。 生徒の南瓜苗の植え付けの間に、先月お父さんたちが種を持ち帰って作ってきた苗を、別の圃場に植え付けました。9人程のお父さんが24株植えたので、コンクールに出品したり、ハロウィンを楽しみたいと思うのでご期待下さい。

6 持ち帰り。 小松菜、ハウレンソウ、苗と土、カブトムシの幼虫と落ち葉。

バケツ稲は出来栄えのコンクールを行い、優秀な作品には賞品が出ますので、是非頑張っておバケツ稲レシピに従い旨く育ててください。

カブトムシは成虫に成る7月と8月に、カブト虫運動会を行いますので、丈夫な虫に育てて持ってきて下さい。毎年大変な声援で盛り上がります。

～とくちゃんのちょっと一言～

時々苦情が寄せられていますが、全員に公平に食事が行き渡らない事があるようです。

お勝手の方では、皆さんにお腹いっぱい食べていただけるだけの数量を作るよう心がけています。ただ、個々のメニューでは材料調達の都合などで一人一つつつしか無いものもあります。お配りする時には、各グループの参加人員の多少に合わせて出すようにはしておりますが、厳密ではありません。

各グループでは、配分量（数）を確認してから配って下さい。配り残った分は、参加人数の多いグループへ廻すよう配慮していただけるとありがたいです。皆で公平に分け合って食べることも農小食育の一環ですので父兄の方もご理解と気配りをお願いいたします。

～あぼ兄の百姓ばなし～

「登山を必修科目に」

「8000m峰14座制覇」5月27日の新聞の1面の見出しに思わず声をあげた。

登山家の竹内洋岳さんが日本人として初の快挙をなしとげた。14座は全て「世界の屋根」と呼ばれるヒマラヤにある。8000m以上の高所は、酸素が平地の3分の1しかなく、高山病の危険が高い。厳しい寒気・強風・雪崩…人間の生存を拒む世界だ。日本人の登山家の記録は4人が9座で続くが、この内の3人は10座目の挑戦で遭難死している。

今、日本では中高年の登山者が増え、百名山をめざして列をなしていると言われるほどだ。大型連休には何件かの遭難事故のニュースが流れた。高くて3000mの国内の山々も決して侮ることはできない。十分な準備・体力・経験が不足した登山者の増加が5月の連休の事故にもつながったのだろう。

それでも人は山を目指す。人はなぜ山に登るのだろうか？

山の記事を見ると、あぼ兄は若き日を思い出す。始めて山に登ったのは17歳、岐阜県農業大学の前身である農業修練校に在学中、八ヶ岳で行われた全国キャンプ大会に岐阜県代表で参加した。一日目は各県各校の研究発表があり、翌日からテント泊の登山だったが、あいにくの雨になってしまった。テントは雨漏りし、下からは浸水に見舞われたが、すばらしいリーダーのおかげで、楽しい山との出会いとなった。

23歳の時、飛騨高山に本社のある濃飛バスに入社した。中津川営業所からは夏期の約1ヶ月出張があり、乗鞍、上高地、新穂高などの定期観光路線を走っていた。

日本山岳会連盟の中津川支部に入会したが、仲間の行く土日には休みがとれず、もっぱら平日に単独で登った。木曽福島から夜10時のバスに乗って、夜通し歩いて御岳山や木曽駒ヶ岳に登りご来光を拝んだこともあった。

昭和40年、岐阜国体の登山部門は北アルプスを中心に行われ、あぼ兄は競技役員として槍ヶ岳の担当だった。各県チーム約200名がいくつかのルートで登って来る。競技内容は装備・歩き方などいくつかある採点項目の中に天気図の作り方があった。日本各地の気圧、気温、風向、風力などを数字から作成するものだ。選手団が作る天気図のもとになる数値を、ラジオから聞き取り、表にする係だった。今思えば、テープレコーダーも無い時代に、責任重大な役だった。選手団の入れ替わる空き時間には槍ヶ岳頂上に何度か登った。最高の役得だった。

登山はたとえ仲間からの誘いであっても、最終的にはあの山に登ろうという自分の意志と体力をかけて、生活の全てをリュックに詰めて出掛ける。行程は厳しくても、山頂に立った達成感はその分大きい。直に次の山を想う。そんな繰り返しだ。

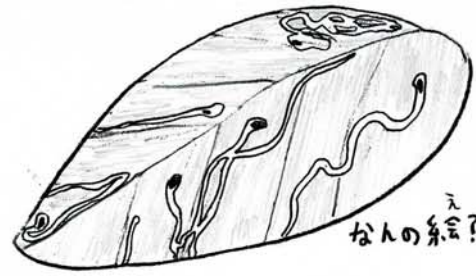
登山は人生に似たところがある。困難苦難があっても乗り切る。最悪の場合は引き返す勇気がある。どんな低い山でも油断は大敵。等々。

「登山は学校教育の必修科目であって良い」があぼ兄の持論である。

映画にもなった新田次郎の小説「聖職の碑」は麓の学校行事で起きた、木曽駒ヶ岳登山史上最悪の遭難事件をモデルにしたものだ。その学校登山は止めることなく再開されたと聞く。「長野県人のねばり、素晴らしさは教育の力だ」と言われた。

～かなちゃんの虫日記～

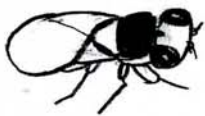
畑には糸かきの虫がいます。
はっほに白っぽい色の糸線があるのを見たことはありませんか？
ハモグリバエのしわざです。



なんの糸かき？

トマト、じゃがいも、にんじん、レタス、ネギ、ほうれんそう、かぼちゃ、エンドウ、などなどいろいろなはっほにいます。

メスの成虫がおしりではっほに穴をあけて、はっほの中に卵をうみます。卵からでると、ウジムシ形の幼虫がはっほの中をたべながらすすんでいきます。そのたべすすんだ道が白い糸線になっていきます。白い糸線をよくみると、ところどころに黒い点があります。それはうんちです。幼虫の間は外にでずはっほの中だけでくらし、おえかきのゴールでさなぎになります。はっほの外でさなぎになるのもしいます。やがて黒・黄色の成虫になります。黄色がないのもしいます。2mmくらいの大ささです。



トマトやかぼちゃならまだいいけど、レタスなどのはっほをたべる野菜に糸をかかされるとちょっと困りますね。でも天敵もいます。ハモグリバエの幼虫に卵をうみつけるヒメコバチなどの寄生バチです。1mmちょっとくらいの大ささです。おたしがエンドウで見たのはメタリックな緑色をしていて、ヒーローというかんじがしました。



でも、さらにこのハチに卵をうみつけるハチもいるんです！
きびしい世界ですね。のほほんとした糸からは想像できませんね。